

【様式 8 I-1】	
実績・体制に関する事項	業務実績
<ul style="list-style-type: none">・本業務と同様の補助事業（環境省補助金「重点対策加速化事業補助金」）を活用した実績について記載すること。・本業務と同種または類似した業務実績（公募要領に定める応募資格に係る実績）について記載すること。 ※A3用紙1枚以内に記載すること。	
【評価の視点】 <ul style="list-style-type: none">・本業務と同様の補助事業を活用した業務の実績は豊富であるか。・本業務と同種又は類似した業務の実績は豊富であるか。	

【様式 8 I-2】	
実績・体制に関する事項	業務実施体制（業務履行）
<ul style="list-style-type: none"> ・営農型太陽光発電設置に係る設計・施工において、相互に技術協力を行いながら事業効果を最大限に発出させ、事業期間内に効率的に進めていく実施体制および手法について具体的に記載すること。 ・氷見市内の地元企業を下請業務等に活用する業務実施体制となっているか。また、市内企業へ発注する業務量は適切か。 <p>※A3用紙1枚以内に記載すること。</p>	
【評価の視点】	
<ul style="list-style-type: none"> ・業務内容を理解し、電気主任技術者による保安体制の確保・協力を含め、業務実施体制およびその手法が妥当であるか。 ・市内企業の活用に対して具体的な企業名を記載する等、具体性があるか。また、積極性を示す発注額等の目標値が設定され妥当か。 	

【様式 8 I-3】	
実績・体制に関する事項	業務実施体制（業務支援）
<ul style="list-style-type: none"> ・本業務における発注者からの多種多様な要望等に対する業務支援体制について過去の事例を用い、具体的に記載すること。 ・発注者が行う関連業務や円滑な現場運営にあたっての具体的な支援内容と方法を記載すること。 <p>※A3用紙1枚以内に記載すること。</p>	
<p>【評価の視点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発注者からの多種多様な要望等に迅速かつ柔軟に対応できる業務支援体制であるか。 ・発注者が行う関連業務・現場運営等における支援内容・方法は、充実しているか。 	

【様式 8 II-1】	
技術に関する事項	営農型太陽光発電設備の機器容量と構成
<p>・以下の項目について記載すること。①太陽光発電設備の合計出力 (kW)、②太陽光発電設備の連系箇所数 (箇所)、③連系地点毎における各々の出力 (kW)、④連系地点毎における太陽光発電設備の計画発電量 (kWh/年) および運転期間 20 年間の合計想定発電量 (kWh)、⑤営農型太陽光発電設備の保守点検・維持管理の方法</p> <p>※A 3 用紙 2 枚以内に記載すること。</p> <p>※数値は、四捨五入により整数で記載すること。</p> <p>※①は、連携地点毎の太陽電池の出力とパワーコンディショナの出力のいずれか小さい方の合計値を記載すること。</p> <p>※③は、連系地点毎のモジュールの出力、PCS の出力、過積載率を記載すること。</p> <p>※④は、発電量のシミュレーション方法についても記載し、連系地点毎・20 年間毎の発電量を表にまとめ、その合計も記載すること。</p>	
<p>【評価の視点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務内容を理解し、発電・営農・作業を考慮した最適な営農型太陽光発電事業となっているか。 ・連系地点毎の計画発電量とモジュールの出力、PCS の出力、過積載率のバランスは適切か。 ・設備の保守点検や維持管理を考慮した提案になっているか。 	

【様式 8 II-2】	
技術に関する事項	太陽光発電設備構造図
<p>・設備機器、工法、基礎地盤、系統連系に関する考え方を記載の上、それに基づいたシステム構成図、設置図、機器標準図等を別紙に添付すること。 ※A3用紙1枚以内に記載すること。別紙はA3用紙10枚以内とすること。</p>	
【評価の視点】	
<p>・業務内容を理解し、具体的で有効なものとなっているか。適切な設備構成となっているか。 ・設備の運転期間を十分に考慮した機器構成や工夫が見られる提案となっているか。</p>	

【様式 8 II-3】	
技術に関する事項	費用一覧
<ul style="list-style-type: none"> ・設計・工事業務に要する費用の合計および内訳を詳細に記載すること。 ・上記に加え、設備の運転期間 20 年間のランニングコスト（保守・メンテナンス費用等）についても記載すること。 <p>※A 3 用紙 2 枚以内に記載すること。</p> <p>※一般送配電事業者の配電線連系にかかる工事費負担金については、接続検討回答書の金額を使用すること。</p>	
<p>【評価の視点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運転期間 20 年間のランニングコストを低減するため、創意工夫のある提案になっているか。 	

【様式 8 II-4】	
技術に関する事項	業務実施スケジュール等
<ul style="list-style-type: none"> ・ 工程計画、実施手順等の実施について妥当性を記載すること。また、事業開始予定日、事業完了予定日を記載すること。 ・ 工程計画の項目及び項目スケジュールについて、地元説明会等も含め、スケジュール管理に必要な事項を記載すること。 <p>※A3用紙1枚以内に記載すること。</p>	
<p>【評価の視点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 作業スケジュールが実施手法に対して、妥当かつ現実的か。 ・ 想定される課題および解決手段・手順が具体的に示されているか。 ・ 地元への工事説明等や施工上の重要なポイントを捉えているか。 	